



## 子ども達の安全を守る ひつしゅかい 必守会が防犯啓発品を設置

5月21日(木)、必佐地区の自主防災・防犯組織「必佐地区安全なまちづくり協議会(必守会)」(村島茂男(会長)は、防犯力強化を目的として地区内ののぼり旗やポスターなどの防犯啓発品を設置されました。

設置されたのは、「この地区は絶対に犯罪を許しません」などと書かれたのぼり旗、「ごども110番の家」のコーン、「イカのおすし」(行かない、乗らない、大声でさげろ、すぐに逃げる、知らせる)や道路標識を周知するポスターと看板。村島会長は「これからも地域防犯に取り組んでいきたい」と話されました。



「イカのおすし」  
守ろうね

## 日野駅再生プロジェクト 鉄道ミュージアムが完成

平成28年から取り組んできた「日野駅再生プロジェクト」の事業の締めくくりである日野駅鉄道ミュージアム「鉄道資料展示室」が完成し、5月31日(日)、日野駅で完成式を挙行し、関係者ら約30名が参加されました。

展示室には日野駅の歴史を伝える年表や、列車同士の追突を防ぐための装置「タブレット閉塞器」など約50点が展示されています。また、駅舎南側には、国内で数台しか現存しないという「タッグローダー」を展示。

駅再生プロジェクトの総事業費は約1億4千万円。プロジェクトには、約8,500万円もの寄附が寄せられました。来賓の近江鉄道株式会社飯田則昭社長は、「皆さんから広く愛されていることを実感しました。これからも末永く営業できるように励みにしたい」と話されました。



しつこな装置などが並ぶ展示室



国内で現存はわずか数台とされる  
タッグローダー

## 赤十字奉仕団 マスク1万枚製作プロジェクト

新型コロナウイルス感染症によるマスク不足に対応するため、滋賀県内の赤十字奉仕団がマスク1万枚を製作するプロジェクトを5月にスタート。これを受け、日野町赤十字奉仕団の皆さんが手作りマスク360枚を製作し、6月上旬、日本赤十字社を通じ滋賀県に寄贈されました。

生地には高島市で生産されている「高島さらし」を使用。団員の方は「早くマスクを使わなくても良くなりますように」とマスクに込めた思いを話してくださいました。

寄贈されたマスクは、マスクを必要とする事業所などに配布される予定です。



日野町赤十字奉仕団の皆さんと手作りマスク360枚



## 楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当  
 (役場1階・町長懇談室 ☎0748-52-6550)までお知らせください。  
 皆さんからの情報をお待ちしています!!

## たくさんのご寄附・寄贈 ありがとうございます

これまで、当町が新型コロナウイルス感染症の感染予防のために受けた寄附・寄贈は以下のとおりです。  
 (6月10日現在) ご支援ありがとうございました。町内の各公共施設等で利用させていただきます。

受取日	寄 付 者	寄 附 内 容
3月18日	クリーンぬのびき広域事業協同組合	消毒液 20L
4月 7日	西大路小学校・幼稚園の保護者	手作りマスク 100枚 (写真①)
4月 8日	株式会社奥田工務店	鉛筆 179ダース シャープペンシル 151本 (各小中学校の新入生にお祝いとして) (写真②)
4月 9日	ままのちくちく	手作りマスク 130枚 (写真③)
4月23日	匿名	サージカルマスク 2,000枚 (写真④)
4月28日	ファミリーサポートセンター	手作りマスク 20枚
4月28日	フレンドタウン日野店	手作りマスク 80枚 (写真⑤)
5月 1日	株式会社ヒロセ	手指消毒ジェル500mlボトル 2,004本
5月 8日	グリーン近江農業協同組合	サージカルマスク 1,000枚 (写真⑥)
5月11日	日野町地域女性団体連合会	手作りマスク 277枚
5月27日	株式会社キムラテック	100万円
5月29日	株式会社ベルディア	サージカルマスク 1万枚 (写真⑦)

